

プレスリリース

📅 2026.02.27

カルゴン・カーボン社米国における再生炭生産設備の増設について

～米国オハイオ州に年産1.23万トン規模の生産設備を増設～

株式会社クラレ

株式会社クラレ（本社：東京都千代田区、社長：川原 仁）の米国子会社Calgon Carbon Corporation（以下、カルゴン・カーボン社）は活性炭の世界的な需要拡大に対応するため、米国オハイオ州コロンバス工場において再生炭生産設備を増設することを決定しました。

生産設備増設の背景

・活性炭は、瀝青炭やヤシ殻などを原材料として加工した、表面に微細孔を持つ炭素材料で、微細孔の大きさや形状によって、さまざまな用途に使用されています。近年、水・大気の浄化など環境関連用途で広く使用されており、特に米国では水質汚染物質の除去など飲料水分野における活性炭の需要が拡大しています。

・米国環境保護庁（EPA）は、2024年4月に飲料水中のPFAS物質に対する法的拘束力のある最大許容濃度（MCL）を公布しました。この飲料水向けPFAS規制値に

ついては、2031年4月を遵守期限としており、米国すべての水道事業体に遵守を求めています。

・今回、カルゴン・カーボン社米国・コロンバス工場において、飲料用途向け再生炭生産設備を増設することで、米国の水道事業体におけるPFAS処理ニーズに大きく

貢献することが期待されます。

・クラレグループは、拡大する飲料水市場に対し、安定した活性炭の供給体制の拡充に今後も取り組み、環境問題へのソリューションを提供していきます。

生産設備増設の概要

投資金額：	約1億ドル
稼働時期：	2028年第1四半期予定

クラレグループは、中期経営計画「PASSION 2026」を推進しており、今後も将来の安定した事業ポートフォリオ構築を目指し、成長事業への投資を継続して実施していきます。

[トップページ](#) / [ニュース（新着）](#) / [カルゴン・カーボン社米国における再生炭生産設備の増設について](#)

- クラレについて 
 - サステナビリティ 
 - 製品情報 
 - イノベーション 
 - 投資家情報 
-

電子公告

プライバシーポリシー

アクセスデータの取扱い

ディスクロージャー・ポリシー

ソーシャルメディアポリシー

ご利用にあたって

公式SNS